

## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月7日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO 財務本部長 (氏名) 宇野 隆俊 TEL 075-951-7171  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	336,830	-	2,977	-	2,746	-	346	-
2021年3月期第3四半期	284,258	△15.1	526	△92.2	450	△93.1	△2,556	-

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 4,033百万円 (-%) 2021年3月期第3四半期 △2,351百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	3.25	3.24
2021年3月期第3四半期	△24.00	-

(参考) のれん等償却前営業利益 2022年3月期第3四半期 10,028百万円 (-%)  
 2021年3月期第3四半期 7,686百万円 (△45.3%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	381,861	59,081	15.3	548.54
2021年3月期	363,505	55,542	15.1	516.08

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 58,474百万円 2021年3月期 55,000百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	-	-	-	8.00	8.00
2022年3月期	-	-	-	-	-
2022年3月期(予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	-	5,000	-	4,000	-	1,000	-	9.38

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(注2) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	106,608,013株	2021年3月期	106,580,013株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	7,216株	2021年3月期	7,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	106,586,597株	2021年3月期3Q	106,535,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報) .....	8
3. その他 .....	9
参考情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、日本を含めてコロナ禍からの経済活動の復調傾向が継続している中で推移となりました。しかしながら、近年類を見ない災禍からの急激な回復局面で、需要に供給が追いつかず資源高・原材料市況や輸送運賃の高騰・サプライチェーンの混乱を引き起こしており、米国を初めとした急激なインフレ進行なども生じて、様々な業種で生産及びコスト面に大きな影響を及ぼしています。

このような中、フォークリフトを始めとする物流機器市場も需要の復調傾向は継続しており、一部地域で顕著に観察された反動需要が一服したものの、コロナ禍前と同様あるいはそれを超える水準で堅調に推移しています。

この状況下、当社においても、グループ各社の受注は好調ではあるものの、半導体不足の影響を始めとした様々な部品供給の遅れによるリードタイムの長期化、原材料費・輸送費を始めとしたコスト高の影響を大きく受けております。受注増加に応じた生産・出荷を実現し納期順守すべく、部品供給の確保・整流化に取り組むとともに、コストの削減にも引き続き注力しているところです。しかしながら、足許では新型コロナウイルス感染症の変異型（オミクロン株）による爆発的な感染再拡大が起きており、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、3,368億3千万円（前年同期比18.5%増加）となりました。第2四半期連結会計期間に比して当第3四半期連結会計期間では、フォークリフト需要のコロナ禍からの復調が売上高の増加に寄与しています。利益面につきましては、原材料や輸送運賃の高騰影響を受けながらも、売上高の増加と固定費の抑制効果により、営業利益は29億7千7百万円（前年同期比465.7%増加）、経常利益は27億4千6百万円（前年同期比509.3%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億4千6百万円（前年同期25億5千6百万円の損失）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、営業利益は100億2千8百万円（前年同期比30.5%増加）となり、営業利益率は3.0%（前年同期比0.3ポイント増加）となっております。

また、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、当第3四半期連結累計期間の売上高が12億9千5百万円減少、売上原価が1億5千3百万円減少、販売費及び一般管理費が12億5千万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1億8百万円増加しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご参照ください。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 〔国内事業〕

国内事業は、フォークリフト需要がコロナ禍前と同様の水準で堅調に推移していることもあり、売上高は1,283億3千3百万円（前年同期比4.2%増加）となりました。セグメント利益は、特にアフターサービス・補用部品の売上高の増加が寄与し15億1千3百万円（前年同期1億1千7百万円の損失）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は51億4百万円（前年同期比39.6%増加）となっております。

#### 〔海外事業〕

海外事業は、フォークリフト需要がコロナ禍前を超える水準で推移しており、売上高は2,084億9千7百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。セグメント利益は、売上高の増加が寄与する一方で原材料市況や輸送運賃の高騰等により減殺され、14億6千4百万円（前年同期比127.3%増加）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は49億2千3百万円（前年同期比22.2%増加）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,818億6千1百万円となり、前連結会計年度末より183億5千6百万円増加しました。流動資産は、売上債権の増加、棚卸資産の増加等により251億2千1百万円増加し、固定資産は、主にのれん等償却により67億6千5百万円減少しました。負債合計は3,227億8千万円となり、前連結会計年度末より148億1千7百万円増加しました。主な要因は、仕入債務の増加によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと584億7千4百万円となり、前連結会計年度末より34億7千4百万円増加しました。主な要因は、為替換算調整勘定の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年10月29日に公表したのから変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,000	16,608
受取手形及び売掛金	69,127	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	74,029
電子記録債権	1,639	2,382
商品及び製品	37,569	44,773
仕掛品	9,940	13,042
原材料及び貯蔵品	13,744	27,403
その他	46,668	40,662
貸倒引当金	△1,138	△1,227
流動資産合計	192,552	217,674
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,630	20,059
機械装置及び運搬具(純額)	46,168	46,230
土地	21,841	21,691
その他(純額)	9,489	10,498
有形固定資産合計	98,130	98,480
無形固定資産		
のれん	35,609	30,977
その他	19,251	17,230
無形固定資産合計	54,861	48,208
投資その他の資産		
投資有価証券	7,152	7,631
その他	10,862	9,900
貸倒引当金	△53	△33
投資その他の資産合計	17,960	17,499
固定資産合計	170,952	164,187
資産合計	363,505	381,861

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,670	51,315
電子記録債務	15,606	18,252
短期借入金	44,351	45,063
未払法人税等	2,590	2,228
賞与引当金	4,255	2,072
役員賞与引当金	73	47
製品保証引当金	3,093	3,132
関係会社整理損失引当金	75	75
その他	36,223	38,986
流動負債合計	148,939	161,174
固定負債		
長期借入金	130,165	131,700
製品保証引当金	2,016	2,147
役員退職慰労引当金	14	8
退職給付に係る負債	15,770	15,949
その他	11,056	11,800
固定負債合計	159,023	161,606
負債合計	307,962	322,780
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,913	4,919
資本剰余金	34,750	34,756
利益剰余金	10,655	10,421
自己株式	△2	△2
株主資本合計	50,315	50,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,421	2,737
為替換算調整勘定	2,370	5,317
退職給付に係る調整累計額	△107	324
その他の包括利益累計額合計	4,684	8,379
新株予約権	251	283
非支配株主持分	290	322
純資産合計	55,542	59,081
負債純資産合計	363,505	381,861

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	284,258	336,830
売上原価	217,039	260,618
売上総利益	67,218	76,212
販売費及び一般管理費	66,691	73,234
営業利益	526	2,977
営業外収益		
受取利息	466	422
受取配当金	66	84
持分法による投資利益	—	3
為替差益	—	114
補助金収入	805	20
その他	240	327
営業外収益合計	1,578	972
営業外費用		
支払利息	1,064	1,094
持分法による投資損失	96	—
為替差損	367	—
その他	124	109
営業外費用合計	1,653	1,203
経常利益	450	2,746
特別利益		
固定資産売却益	78	112
投資有価証券売却益	0	11
受取保険金	72	2
特別利益合計	151	126
特別損失		
固定資産処分損	159	132
減損損失	228	171
災害による損失	48	—
関係会社整理損	59	—
事業構造改善費用	1,706	—
退職給付制度終了損	559	—
特別損失合計	2,762	303
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,159	2,569
法人税、住民税及び事業税	2,202	1,863
法人税等調整額	△1,890	330
法人税等合計	311	2,193
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,471	375
非支配株主に帰属する四半期純利益	84	29
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,556	346

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,471	375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	798	316
為替換算調整勘定	△1,399	2,896
退職給付に係る調整額	711	432
持分法適用会社に対する持分相当額	9	12
その他の包括利益合計	120	3,658
四半期包括利益	△2,351	4,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,390	3,999
非支配株主に係る四半期包括利益	39	33



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、(会計方針の変更)に記載しております。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日 以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる主な変更点は、次の通りです。

従来、販売費及び一般管理費に計上しておりました当社から販売代理店に支払われる対価の一部を、取引の実態に鑑み変動対価や顧客に支払われる対価とし、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が12億9千5百万円減少、売上原価が1億5千3百万円減少、販売費及び一般管理費が12億5千万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1億8百万円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は2億7千2百万円増加しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えは行なっておりません。

## (セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	123,185	161,072	284,258	—	284,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,087	1,034	20,121	(20,121)	—
計	142,273	162,106	304,379	(20,121)	284,258
セグメント利益又は損失(△)	△117	644	526	—	526

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては2億2千8百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	128,333	208,497	336,830	—	336,830
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,277	1,335	36,613	(36,613)	—
計	163,610	209,833	373,443	(36,613)	336,830
セグメント利益又は損失(△)	1,513	1,464	2,977	—	2,977

(注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。当該変更により、従来の方針に比べて、当第3四半期連結累計期間の国内事業の売上高は12億9千5百万円減少、セグメント利益は1億8百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

## 3. その他

## 参考情報：2022年3月期 第3四半期決算&lt;連結&gt;

## 1. 決算ハイライト

(単位：億円)

	2020年度					2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	905.3	949.2	987.9	1,072.3	3,914.9	1,080.7	1,080.1	1,207.3		3,368.3
営業利益<のれん等償却前>	10.3	33.0	33.4	33.0	109.9	34.7	28.2	37.2		100.2
(営業利益率)	1.1%	3.5%	3.4%	3.1%	2.8%	3.2%	2.6%	3.1%		3.0%
のれん等償却	△ 21.9	△ 26.1	△ 23.5	△ 22.3	△ 93.9	△ 22.7	△ 24.7	△ 23.0		△ 70.5
営業利益<のれん等償却後>	△ 11.5	6.9	9.8	10.6	15.9	12.0	3.5	14.1		29.7
(営業利益率)	△1.3%	0.7%	1.0%	1.0%	0.4%	1.1%	0.3%	1.2%		0.9%
経常利益	△ 13.7	6.7	11.5	15.6	20.1	11.9	2.4	13.1		27.4
(経常利益率)	△1.5%	0.7%	1.2%	1.5%	0.5%	1.1%	0.2%	1.1%		0.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 15.7	△ 3.8	△ 5.9	△ 1.2	△ 26.8	△ 0.3	0.6	3.1		3.4
(当期純利益率)	△1.7%	△0.4%	△0.6%	△0.1%	△0.7%	△0.0%	0.1%	0.3%		0.1%

## 為替レート

(単位：円)

USD	107.62	106.92	106.12	106.06		109.49	109.80	111.11		
EUR	118.48	121.30	122.37	123.70		131.93	130.88	130.61		

## 2. セグメント情報

(単位：億円)

		2020年度					2021年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	国内事業	383.8	423.5	424.4	452.9	1,684.8	409.2	426.9	447.0		1,283.3
	海外事業	521.4	525.6	563.5	619.4	2,230.1	671.4	653.1	760.3		2,084.9
営業利益	国内事業	4.4	16.7	15.3	20.0	56.6	11.3	16.0	23.6		51.0
	海外事業	5.9	16.2	18.0	12.9	53.2	23.4	12.1	13.5		49.2

※営業利益はのれん等償却前営業利益

## 地域別売上高

(単位：億円)

地域	2020年度					2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	383.8	423.5	424.4	452.9	1,684.8	409.2	426.9	447.0		1,283.3
米州	323.4	325.5	330.2	366.7	1,346.0	400.4	404.4	475.8		1,280.7
欧州	147.3	150.1	177.8	186.4	661.8	196.4	171.8	204.4		572.6
アジア・中国	50.6	49.9	55.4	66.2	222.2	74.6	76.9	79.9		231.5
計	905.3	949.2	987.9	1,072.3	3,914.9	1,080.7	1,080.1	1,207.3		3,368.3

## 3. フォークリフト販売台数

(単位：千台)

	2020年度					2021年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	7	6	7	7	27	7	7	8		22
海外	14	12	15	17	58	18	16	19		54
合計	20	19	22	24	85	25	23	27		75